

介護保険 3 施設 の 比較

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	医療保険適用の療養型病床群等
	介 護 保 険			医療保険
対象者	常時介護が必要で在宅生活が困難な要介護者	病状安定期にあり、入院治療をする必要はないが、リハビリテーションや看護・介護を必要とする要介護者	カテーテルを装着している等の常時医療管理が必要で病状が安定期にある要介護者 (右に該当する者を除く)	病状が安定している長期療養患者のうち、 ・密度の高い医学的管理や積極的なリハビリテーションを必要とする者 ・40歳未満及び40～65未満の特定疾病以外の者
介護保険施設に係る指定基準	居室 (1人当たり10.65㎡以上) 医務室 機能回復訓練室 食堂 浴室 等 廊下幅 片廊下1.8m以上 両廊下2.7m以上	療養室 (1人当たり8㎡以上) 診察室 機能訓練室 談話室 食堂 浴室 等 廊下幅 片廊下1.8m以上 両廊下2.7m以上	病室(1人当たり6.4㎡以上) 機能訓練室 談話室 浴室 食堂 等 廊下幅 片廊下1.8m以上 両廊下2.7m以上	病室(1人当たり6.4㎡以上) 機能訓練室 談話室 浴室 食堂 等 廊下幅 片廊下1.8m以上 両廊下2.7m以上
※ 人員基準 について は100人 当たり	医師 (非常勤可) 1人 看護婦 3人 介護職員 31人 介護支援専門員 1人 その他 生活相談員 等	医師 (常勤) 1人 看護婦 9人 介護職員 25人 理学療法士又は作業療法士 1人 介護支援専門員 1人 その他 相談指導員 等	医師 3人 看護婦 17人 介護職員 17人 介護支援専門員 1人 その他 薬剤師・栄養士等	医師 3人 看護婦 17人 介護職員 17人 その他 薬剤師・栄養士等

施設類型別要介護度分布

(単位:%)

	在宅	施設計	施設		
			特別養護老人ホーム	老人保健施設	療養型病床群
自立	9.0	1.8	1.3	2.0	2.9
要支援	9.1	6.4	6.0	8.0	5.0
要介護1	21.4	20.3	18.8	25.8	15.6
要介護2	14.8	13.9	12.8	18.0	10.0
要介護3	14.1	23.2	24.3	21.8	21.4
要介護4	16.0	23.5	25.2	17.7	28.0
要介護5	15.5	11.0	11.6	6.7	17.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 平成10年度試行的事業における調査結果(分析対象:在宅者 93,861名、施設入所者82,985名)に基づき推計を行ったもの。

要介護認定における「特別な医療」の該当状況からみた 介護保険施設の特性について

1 方法

各施設類型別に、平成10年度の要介護認定にかかる試行的事業（以下、試行的事業という）の調査対象者に対して行われている「特別な医療」（看護婦等が診療補助行為として実施している12の項目。）の該当状況について分析した。

なお、医師しか行えない医療行為は調査の対象外である。

（参考1） 特別な医療

1. 点滴の管理
2. 中心静脈栄養
3. 人工透析
4. ストーマ（人工肛門）の処置
5. 酸素療法
6. レスピレーター（人工呼吸器）
7. 気管切開の処置
8. 疼痛の看護
9. 経管栄養
10. モニター測定（血圧、心拍、酸素飽和度等）
11. じょくそうの処置
12. カテーテル（コンドームカテーテル、留置カテーテル等）

2 結果

（1）「特別な医療」に該当する者の割合

「特別な医療」への該当項目数分布について表1に、該当者の項目数分布について表2に示す。

表1 「特別な医療」への該当の有無

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	療養型病床群
該当なし	86.4%	89.1%	65.0%
該当あり	13.6%	10.9%	35.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

表2 「特別な医療」該当者の項目数分布（再掲）

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	療養型病床群
1項目	10.8%	9.1%	21.6%
2項目	2.1%	1.4%	8.0%
3項目	0.5%	0.3%	3.2%
4項目	0.1%	0.1%	1.3%
5項目	0.0%	0.0%	0.6%
6項目	0.0%	0.0%	0.2%
7項目	0.0%	0.0%	0.1%
8項目	0.0%	0.0%	0.0%
該当者の 平均項目数	1.27	1.21	1.64

少なくとも1項目以上の「特別な医療」に該当している者の割合は、療養型病床群が最も多い。(35.0%) [特別養護老人ホーム 13.6%、老人保健施設 10.9%]

また、該当者の平均該当項目数も療養型病床群が最も多い。(1.64項目) [特別養護老人ホーム 1.27項目、老人保健施設 1.21項目]

(2) 「特別な医療」の項目別内訳

「特別な医療」の12項目のうち、どの項目に該当しているかを表3に示す。

表3 「特別な医療」の項目別内訳

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	療養型病床群
点滴の管理	1.5%	1.4%	7.8%
中心静脈栄養	0.1%	0.0%	1.5%
人工透析	0.1%	0.0%	0.5%
ストーマの処置	0.5%	0.5%	0.7%
酸素療法	0.6%	0.3%	2.7%
レスピレーター	0.0%	0.0%	0.2%
気管切開の処置	0.3%	0.1%	2.1%
疼痛の看護	3.4%	3.6%	6.4%
経管栄養	3.8%	1.5%	14.0%
モニター測定	0.4%	0.4%	1.8%
じょくそうの処置	3.7%	3.2%	9.1%
カテーテル	2.9%	2.2%	10.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

「特別な医療」が行われている者の割合が高い上位3項目は、特別養護老人ホームでは、経管栄養(3.8%)、じょくそうの処置(3.7%)、疼痛の看護(3.4%)、老人保健施設では、疼痛の看護(3.6%)、じょくそうの処置(3.2%)、カテーテル(2.2%)、療養型病床群では、経管栄養(14.0%)、カテーテル(10.4%)、じょくそうの処置(9.1%)となっている。

又、特別養護老人ホームと老人保健施設では、「特別な医療」が行われている者の割合は、経管栄養について、特別養護老人ホーム3.8%、老人保健施設1.5%と、特別養護老人ホームの方が高いほかは、ほぼ同じ傾向を示す。

さらに、療養型病床群については、ほとんどの項目でその他の2施設よりも「特別な医療」が行われている者の割合が高い。